



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月29日

上場会社名 株式会社明電舎 上場取引所 東・名
 コード番号 6508 URL <https://www.meidensha.co.jp>
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 三井田 健
 問合せ先責任者(役職名) 広報・IR部長 (氏名) 水谷 典雄 (TEL) 03-6420-8100
 四半期報告書提出予定日 2021年2月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	137,213	△4.5	△3,476	—	△3,771	—	△3,402	—
2020年3月期第3四半期	143,727	3.2	△4,887	—	△5,559	—	△3,921	—

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 △802百万円(—%) 2020年3月期第3四半期 △4,096百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△75.00	—
2020年3月期第3四半期	△86.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	269,164	86,728	31.1
2020年3月期	270,410	90,117	32.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 83,762百万円 2020年3月期 87,111百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2021年3月期	—	20.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期期末の配当予想につきましては、現時点では未定であります。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	230,000	△10.1	7,000	△45.0	6,600	△42.5	4,700	△42.7	103.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	45,527,540株	2020年3月期	45,527,540株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	157,598株	2020年3月期	157,093株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	45,370,293株	2020年3月期3Q	45,371,222株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はT D n e tで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループの経営環境としては、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、国内外におけるお客様投資計画の見直しや需要の落ち込み、工事の進捗遅れなどの影響が、一部の事業分野において引き続き見られました。一方で、年度の前半に大きく落ち込んだ自動車産業向けの各事業については、改善の兆しも見えつつありました。

2020年5月13日に発表いたしました当社の2021年3月期の業績予想においては、「2020年7月以降、事業活動が段階的に正常化する」という前提条件のもと、想定しうるリスクを織込んで策定しており、現時点ではその見通しに大きな差異は出ておりません。但し、先行きにつきましては、世界的に新型コロナウイルスの感染者数が再拡大しつつあることや、車載向け半導体の供給不足を原因とする自動車会社の減産見通しなどを含めて、不透明感が拭えない状況が続いております。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は以下のとおりであります。

(単位:百万円)				
	2020年3月期 第3四半期累計期間	2021年3月期 第3四半期累計期間	増減額	増減率(%)
売上高	143,727	137,213	△6,514	△4.5
営業損失	△4,887	△3,476	1,411	—
経常損失	△5,559	△3,771	1,788	—
親会社株主に帰属する 四半期純損失	△3,921	△3,402	519	—

セグメント別の状況は次のとおりであります。売上高につきましては、セグメント間の取引を含んでおります。

なお、当社は2020年4月1日付で明電ナノプロセス・イノベーション株式会社を設立したことに伴い、当該事業のセグメント区分の変更を行っております。以下、前年同期比較については、当該変更を反映した前年同期の数値を用いております。

① 社会インフラ事業セグメント

海外事業において、新型コロナウイルスの影響に伴う案件の減少や工事の進捗遅れによる売上案件への影響があったものの、国内インフラ事業が堅調に推移していることにより、前年同期比では増収増益となりました。その結果、売上高は前年同期比5.0%増の78,400百万円、営業損失は3,493百万円改善の3,056百万円となりました。

② 産業システム事業セグメント

電子機器分野において、半導体製造装置市場が堅調に推移していることを受けて販売が拡大したものの、EV事業における前年度比での大幅な落ち込みなどを受けて、前年同期比で大幅な減収減益となりました。その結果、売上高は前年同期比24.6%減の33,853百万円、営業損失は1,877百万円悪化の807百万円となりました。

③ 保守・サービス事業セグメント

BCPや省エネ対応、設備延命化などの需要が引き続き高い水準で推移し、その結果、売上高は前年同期比2.4%増の20,416百万円、営業利益は123百万円改善の855百万円となりました。

④ 不動産事業セグメント

売上高は前年同期並みの2,591百万円、営業利益は6百万円悪化の1,042百万円となりました。

⑤ その他

報告セグメントに含まれない事業において、新型コロナウイルスの影響に伴い事業環境が悪化したこと等から、売上高は前年同期比17.2%減の11,690百万円、営業損失は539百万円悪化の76百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末(以下「前期末」)比1,246百万円減少し、269,164百万円となりました。

流動資産は、前期末に計上した売上債権の回収が進み、前期末比8,248百万円減少の148,309百万円となりました。

固定資産は、設備投資による機械装置の増加、保有する上場株式の市場価値上昇に伴う投資有価証券の増加により、前期末比7,002百万円増加の120,854百万円となりました。

負債は、コマーシャル・ペーパーの増加や支払手形及び買掛金の減少等により、前期末比2,143百万円増加の182,436百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び剰余金の配当に伴い、前期末比3,389百万円減少の86,728百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前期末の32.2%から31.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの事業は、電力会社や官公庁向けの各種電気設備や、地方自治体向けの上下水処理設備等において、年度末に売上が集中する傾向がございます。そのため、当第3四半期連結累計期間につきましては、売上高は年間の数値に対して相対的に低い水準にとどまり、また損益につきましても損失を計上しておりますが、業績は概ね予想通り推移しており、2020年10月29日に公表いたしました業績予想については、変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,272	14,518
受取手形及び売掛金	88,565	59,167
電子記録債権	7,233	7,039
商品及び製品	4,445	6,385
仕掛品	33,291	47,651
原材料及び貯蔵品	5,468	5,652
その他	4,404	8,005
貸倒引当金	△122	△110
流動資産合計	156,558	148,309
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	38,071	39,165
機械装置及び運搬具(純額)	10,074	13,882
土地	12,960	13,015
建設仮勘定	5,534	4,241
その他(純額)	4,633	4,856
有形固定資産合計	71,274	75,161
無形固定資産		
ソフトウェア	5,449	5,326
のれん	3,976	3,394
その他	766	751
無形固定資産合計	10,192	9,472
投資その他の資産		
投資有価証券	14,104	17,734
長期貸付金	33	35
繰延税金資産	16,039	16,087
その他	2,246	2,398
貸倒引当金	△38	△35
投資その他の資産合計	32,385	36,220
固定資産合計	113,852	120,854
資産合計	270,410	269,164

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	35,966	25,586
電子記録債務	5,637	3,537
短期借入金	10,063	19,448
コマーシャル・ペーパー	3,000	15,000
未払金	5,744	4,707
未払法人税等	1,692	90
前受金	12,487	20,464
賞与引当金	7,563	3,584
製品保証引当金	1,372	1,323
受注損失引当金	933	1,092
その他	16,559	14,948
流動負債合計	101,022	109,782
固定負債		
社債	11,000	11,000
長期借入金	21,931	13,995
退職給付に係る負債	41,824	43,054
環境対策引当金	399	380
その他	4,115	4,223
固定負債合計	79,270	72,654
負債合計	180,292	182,436
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,070	17,070
資本剰余金	11,402	10,927
利益剰余金	55,604	50,160
自己株式	△188	△189
株主資本合計	83,887	77,967
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,109	6,296
繰延ヘッジ損益	5	5
為替換算調整勘定	257	343
退職給付に係る調整累計額	△1,148	△851
その他の包括利益累計額合計	3,223	5,794
非支配株主持分	3,005	2,965
純資産合計	90,117	86,728
負債純資産合計	270,410	269,164

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	143,727	137,213
売上原価	111,209	104,561
売上総利益	32,518	32,651
販売費及び一般管理費	37,405	36,128
営業損失(△)	△4,887	△3,476
営業外収益		
受取利息	41	32
受取配当金	566	512
受取賃貸料	76	80
持分法による投資利益	18	—
その他	478	397
営業外収益合計	1,182	1,022
営業外費用		
支払利息	523	369
為替差損	176	221
出向者関係費	140	95
訴訟関連費用	527	139
その他	487	492
営業外費用合計	1,854	1,317
経常損失(△)	△5,559	△3,771
特別利益		
受取損害賠償金	—	240
段階取得に係る差益	365	—
特別利益合計	365	240
特別損失		
固定資産除却損	32	130
新型コロナウイルス感染症による損失	—	553
その他	7	4
特別損失合計	39	687
税金等調整前四半期純損失(△)	△5,234	△4,219
法人税、住民税及び事業税	367	316
法人税等調整額	△1,674	△1,154
法人税等合計	△1,307	△838
四半期純損失(△)	△3,927	△3,380
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5	22
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,921	△3,402

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純損失(△)	△3,927	△3,380
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△179	2,187
繰延ヘッジ損益	△3	0
為替換算調整勘定	△401	93
退職給付に係る調整額	415	297
その他の包括利益合計	△169	2,578
四半期包括利益	△4,096	△802
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,097	△832
非支配株主に係る四半期包括利益	0	29

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△5,234	△4,219
減価償却費	6,746	7,000
のれん償却額	424	403
引当金の増減額(△は減少)	△3,432	△3,907
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,054	1,647
受取利息及び受取配当金	△608	△544
支払利息	523	369
持分法による投資損益(△は益)	△18	—
受取損害賠償金	—	△240
段階取得に係る差損益(△は益)	△365	—
売上債権の増減額(△は増加)	46,560	37,703
たな卸資産の増減額(△は増加)	△26,088	△16,272
仕入債務の増減額(△は減少)	△12,050	△13,664
その他	△2,362	△2,040
小計	5,149	6,235
利息及び配当金の受取額	658	544
利息の支払額	△494	△329
法人税等の支払額	△3,790	△3,752
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,523	2,697
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△11,579	△12,094
投資有価証券の売却による収入	254	24
関係会社株式の取得による支出	△9	△490
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	1,649	—
その他	△426	162
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,111	△12,398
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△742	1,273
コマーシャル・ペーパーの純増減額(△は減少)	5,000	12,000
長期借入れによる収入	91	52
長期借入金の返済による支出	△4	△14
社債の発行による収入	6,000	—
非支配株主からの払込みによる収入	13	—
配当金の支払額	△2,212	△1,934
非支配株主への配当金の支払額	△3	△70
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△521	△234
その他	△233	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,386	11,069
現金及び現金同等物に係る換算差額	△60	71
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,262	1,439
現金及び現金同等物の期首残高	12,433	12,621
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,171	14,061

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間において、新たに設立した明電ナノプロセス・イノベーション株式会社及びMeiden America Switchgear, Inc. を連結の範囲に含めております。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

当第3四半期連結会計期間において、株式取得によりVietstar Industry Corporationを持分法適用の範囲に含めております。

(追加情報)

当社は、2018年1月31日に、連結子会社であるPrime Meiden Limited(以下「PML社」)に関し、PCI LimitedほかPML社株主(以下「PML社株主」)より仲裁の申立を受け、仲裁手続を継続しておりましたが、シンガポール国際仲裁センターより仲裁判断を以下のとおり受領いたしました。

1. 仲裁判断確定日

2020年10月24日

2. 仲裁判断の内容

PML社株主からの仲裁申立内容「当社がPML社の会社価値を棄損し、その結果、株主に損害を与えた等として、12,597,000,000インドルピー(約217億円 ※)の金銭を要求する」についてはすべて棄却されたため、当社における損害賠償支払義務は一切発生いたしません。

※ 1インドルピー 約1.72円 (2018年2月1日適時開示時点)

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	社会イン フラ事業	産業シス テム事業	保守・ サービス 事業	不動産 事業	小計				
売上高									
外部顧客への売上高	72,657	42,485	18,832	2,415	136,391	7,336	143,727	—	143,727
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,037	2,433	1,110	197	5,778	6,775	12,553	(12,553)	—
計	74,695	44,919	19,943	2,612	142,170	14,111	156,281	(12,553)	143,727
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△6,549	1,070	731	1,048	△3,699	462	△3,236	(1,650)	△4,887

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他の製品販売、従業員の福利厚生サービス、化成製品等を提供する事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△1,650百万円には、セグメント間取引消去406百万円、たな卸資産の調整額△130百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,925百万円が含まれております。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発部門等で行っている研究開発にかかる費用等であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	社会イン フラ事業	産業シス テム事業	保守・ サービス 事業	不動産 事業	小計				
売上高									
外部顧客への売上高	77,022	32,339	19,385	2,395	131,143	6,069	137,213	—	137,213
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,377	1,514	1,030	196	4,119	5,621	9,740	(9,740)	—
計	78,400	33,853	20,416	2,591	135,262	11,690	146,953	(9,740)	137,213
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△3,056	△807	855	1,042	△1,965	△76	△2,042	(1,434)	△3,476

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他の製品販売、従業員の福利厚生サービス、化成製品等を提供する事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△1,434百万円には、セグメント間取引消去405百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,840百万円が含まれております。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発部門等で行っている研究開発にかかる費用等であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

当社は、2020年4月1日付で明電ナノプロセス・イノベーション株式会社を設立いたしました。これに伴い、前連結会計年度まで「保守・サービス事業」に含まれておりました当該事業は、第1四半期連結会計期間より「その他」の区分に含めております。

なお、前第3四半期連結累計期間の「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」につきましては、当該変更後の金額に組替えて表示しております。